

Astemoダイアグノスティックツール HDM-350ソフトウェアバージョンアップ情報

ソフトウェアバージョンアップ手順は下記リンクをクリックして参照ください。

[HDM-350ソフトウェアバージョンアップ手順](#)

※「インターネットへの接続が確認できませんでした」と表示される場合は本書の2ページ目を参照してください。

《ダイハツ》Ver.5.97

■ 下記の車両でCVTの作業サポート「CVT学習作業」に対応しました。

車両	対応年式	エンジン型式	備考
タント	2019/7(R1/07)～2020/11(R2/11)	KF(N/A、T/C)	パーキングアシスト無し/有り両方に対応
	2020/11(R2/11)～2022/9(R4/9)	KF(N/A、T/C)	
	2022/9(R4/9)～	KF(N/A、T/C)	
	2020/5(R2/5)～	KF(T/C)	
ロッキー	2019/10(R1/10)～2021/10(R3/10)	KR(T/C)	
	2021/10(R3/10)～	1KR-VET	
		WA-VE	
ムーヴキャンバス	2022/6(R4/6)～	KF(T/C)	パーキングアシスト無し/有り両方に対応
ハイゼットカーゴ/アトレー	2021/12(R3/12)～	KF(N/A、T/C)	
ハイゼットトラック	2021/12(R3/12)～	KF(N/A)	

【補足:QRコードからの特性値の読み取りとコントロールユニットへの特性値の書き込みについて】

純正スキャンツールでは車両によりCVT関連部品の交換前に新品の部品本体や梱包袋に貼り付けられたQRコードから特性値を直接読み取り、交換後に「CVT学習作業」の「修理後の作業」でコントロールユニットに特性値の書き込みを行いますが、HDM-350はQRコードからの特性値の読み取りが出来ません。

スマートフォンでQRコードから読み取りした特性値をPC上でテキストデータ(拡張子txt)で保存したあと、PCとHDM-350をUSBケーブルで接続してHDM-350内のAppDataフォルダー(※)に保存し、「修理後の作業」で特性値の書き込みを行ってください。

※HDM-350内のAppDataフォルダー内の保存場所の詳細は「CVT学習作業」の「修理前の作業」で確認してください。

《ホンダ》Ver.4.45

■ 下表の車両で「単眼カメラ運転支援システム」の作業サポート「静止カメラエイミング」と「走行カメラエイミング」に対応しました。

車両	車両型式	備考
オデッセイe:Hev	RC4、RC5	対応範囲を2025年11月～の車両まで拡大
シビック	FL1、FL5	新規追加
シビックe:Hev	FL4	新規追加

《海外でのHDM-350の使用について》

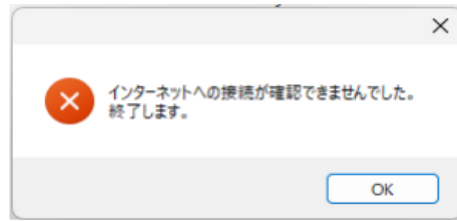
■ HDM-350は日本国内用専用モデルですので、海外では使用しないでください。

■ 海外ではサービスを提供していませんので、ご注意ください。

(次ページに続きます)

«「インターネットへの接続が確認できませんでした」と表示された際の対応について»

PC上でアップデートツールをクリックして下図のメッセージが表示された際は、下記の1項または2項をご参照の上、アップデートツールのバージョンアップを行ってください。



1.2025年5月30日～2025年9月30日までに診断ソフトのバージョンアップをされているユーザー様

下記リンク先に掲載している手順書の1～2ページの操作を行ってください。

[ダイアグノスティックツールのダウンローダーアップデート作業に関するエラーメッセージ表示について](#)

2.新規ユーザー登録を2025年5月29日以前に行い、かつ、2025年9月30日まで診断ソフトのバージョンアップをできていなかったユーザー様

下記リンク先に掲載している手順書の操作を行ってください。

[HDM-350ダウンローダーのアップデート手順](#)